

## 1. 自己評価及び外部評価結果

作成日 平成28年9月6日

## 【事業所概要(事業所記入)】

事業所番号	4670101973
法人名	医療法人 明輝会
事業所名	グループホーム よしの村 (あやめ棟)
所在地	鹿児島県鹿児島市吉野町3822番地1 (電話) 099-244-4412
自己評価作成日	平成28年9月6日

## 【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点 (事業所記入)】

開設当初から開催している祭りや、町内会との協力関係が定着してきました。昨年からは認知症サポーター養成講座など、地域向けの勉強会を企画したり、保育園との継続的な交流を計画したりと、認知症の啓発や利用者が交流する機会をより多く持てるような活動にも力を入れています。利用者の生活においては、ご本人が希望を表すこと、希望する事に取り組めることを支援したいと考えていますが、少しずつ時間をかけて実践方法を模索しているところです。また、各利用者が家族とのかかわりを維持できるように、行事・外出の案内と協力依頼を積極的に行っています。健康管理においては訪問看護を介した医療との連携で、体調変化にスムーズに対応できる体制があり、これによって最期まで暮らせる場を提供することができるようになってきました。今後も、法人全体で取り組む研修等を活用してケアのスキル向上を図りながら、利用者、家族、地域から信頼される事業所として成長していきたいと考えています。

## 【外部評価で確認した事業所の優れている点、工夫点 (評価機関記入)】

--

※事業所の基本情報は、介護サービス情報の公表制度のホームページで閲覧してください。

基本情報リンク先URL	<a href="http://www.kaigokouhyou.jp/kaigosip/Top.do?PCD=46">http://www.kaigokouhyou.jp/kaigosip/Top.do?PCD=46</a>
-------------	-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

## 【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名	NPO法人自立支援センターかごしま 福祉サービス評価機構
所在地	鹿児島県鹿児島市星ヶ峯四丁目2番6号
訪問調査日	平成28年10月4日

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
<b>I. 理念に基づく運営</b>					
1	1	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員はその理念を共有して実践につなげている	理念の共有は唱和により行っている。		
2	2	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	年間を通して行事やイベントを行ったり、参加したりしているが、機会は少ない。		
3		○事業所の力を生かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて生かしている。	今季地域に向けた講話などのイベントを設けたり、年々良くなっている。		
4	3	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	話し合いを行っている。また、上がった意見は全体会などで話しあっている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
5	4	<p>○市町村との連携</p> <p>市町村担当者と日頃から連携を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる。</p>	<p>必要最低限の関係、協力体制は整っている。ただ、運営推進会議のほかは聞き取り調査などが多い。</p>		
6	5	<p>○身体拘束をしないケアの実践</p> <p>代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる。</p>	<p>勉強会などを通して理解し、取り組んでいる。</p>		
7		<p>○虐待の防止の徹底</p> <p>管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている</p>	<p>勉強会など行い確認し、防止に努めている。</p>		
8		<p>○権利擁護に関する制度の理解と活用</p> <p>管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している。</p>	<p>実際に学ぶ機会がなく、完全には理解できていない。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
9		<p>○契約に関する説明と納得</p> <p>契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている。</p>	<p>契約などは管理者やケアマネジャーが行っている。</p>		
10	6	<p>○運営に関する利用者、家族等意見の反映</p> <p>利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている。</p>	<p>担当者会議などで意見をもらうようにしているが、なかなか意見がもらえない。</p>		
11	7	<p>○運営に関する職員意見の反映</p> <p>代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている。</p>	<p>代表が何を行っているがよくわからず、全体像が見えないので、分かるように組織図等を作成したい。</p>		
12		<p>○就業環境の整備</p> <p>代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている。</p>	<p>代表者の直接の関わりはあまりないが、意見を聞き入れてもらえるように整備されており、改善もある。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
13		<p>○職員を育てる取り組み</p> <p>代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている</p>	<p>毎月勉強会などを行い知識向上を図り、キャリアパス実技講習などでスキルアップを目指して行っている。</p>		
14		<p>○同業者との交流を通じた向上</p> <p>代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている</p>	<p>地域のグループホーム連絡協議会であるよかど会などに参加して交流を図っている。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
<b>Ⅱ.安心と信頼に向けた関係づくりと支援</b>					
15		○初期に築く本人との信頼関係  サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	声かけ、聞き取りなどを通して関係作りに尽力している。		
16		○初期に築く家族等との信頼関係  サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	話し合いや、電話などをして、努力している。		
17		○初期対応の見極めと支援  サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	希望を聞き、皆で話し合った上で可能なことは行っている。		
18		○本人と共に過ごし支え合う関係  職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	買い物や洗濯、調理補助などを通じて、関係を築いている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
19		<p>○本人と共に支え合う家族との関係</p> <p>職員は、家族を介護される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている</p>	<p>ご利用者と電話をしたり、職員がご家族に来所を促したりしているが、遠方の方も多く、なかなか難しい。</p>		
20	8	<p>○馴染みの人や場との関係継続の支援</p> <p>本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている</p>	<p>話に出てくることはあるが、支援につなげるのは時間、場所の制約により難しい。</p>		
21		<p>○利用者同士の関係の支援</p> <p>利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている</p>	<p>それぞれの利用者の性格的な問題もあるが、それぞれの個性に合わせ、可能な限り行えている。</p>		
22		<p>○関係を断ち切らない取り組み</p> <p>サービス利用〈契約〉が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている</p>	<p>サービス終了＝死亡がほとんどなので、その後の関係はないが、最期まで看られることは良いことだと思う。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
<b>Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント</b>					
23	9	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。	したいこと、やりたいことを引きだせる環境作りがまだできていない。		
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活暦や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	ご家族に聞いたり、情報提供書を読んだりし、参考にしている。		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	ケアカンファレンスや毎日の引き継ぎなど情報交換を行って、共有につなげている。		
26	10	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	ケアマネが中心となって、ケアカンファで話し合っている。		



自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
27		<p>○個別の記録と実践への反映</p> <p>日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている</p>	<p>個人記録の書き方の見直しを行い、介護計画に反映できるよう工夫を行っている。</p>		
28		<p>○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化</p> <p>本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる</p>	<p>利用者の状態に応じてケアのあり方を変えているが、本人、家族からのニーズをほとんど聞き出せていない。</p>		
29		<p>○地域資源との協働</p> <p>一人ひとりの暮らし方を支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している</p>	<p>地域交流カフェやボランティア、行事参加など地域資源を活用している。</p>		
30	11	<p>○かかりつけ医の受診支援</p> <p>受診は、本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している</p>	<p>月二回の訪問診療により、状態変化や気になることを報告し、連携を図っている。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
31		<p>○看護職員との協働</p> <p>介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している</p>	毎週1回、訪問看護師と報告、連絡、相談を行っている。また、看護師から必要時には状態確認の問い合わせがある。		
32		<p>○入退院時の医療機関との協働</p> <p>利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。または、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。</p>	入院時に面会に行き、そのときに医療関係者と情報交換を行っている。		
33	12	<p>○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援</p> <p>重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人や家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる</p>	終末期の介護を勉強会などを通して理解している。また、マニュアルも作成し、適時に医師へ相談・報告が出来るような体勢がとれている。		
34		<p>○急変や事故発生時の備え</p> <p>利用者の急変や事故発生時に備えて、すべての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている</p>	救命訓練を行っている。マニュアルを作り、それに従って行動できるようにしている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
35	13	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	年4回の避難訓練を行い、非常災害時避難方法の改善と向上を図っている。また、地域の方にも訓練に参加して頂き意見を取り入れている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
<b>IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援</b>					
36	14	○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	声かけは不十分で、みんなの前でひとりを注意したり、配慮が足りていない。更衣時に扉を閉める、カーテンを閉めるなど、基本的なことは出来てる。		
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	散歩に出るなど、職員の人数が十分でなく、すぐには実行できない事が多いが、時間をずらすなど、なるべく希望を実現できるようにしている。		
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	食事の時間や入浴の変更など可能な限り対応している。もっと柔軟に対応したい。		
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるよう支援している	髪の毛をセットする、鏡を見て整える等、気をつけている。本人の希望があればそれに添えるよう行っている。		
40	15	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	口腔体操を行ったり、どんな料理が出るのか、献立を読み上げたりし、利用者から「おいしそう」「ごちそうだね」などの反応が見られている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
41		<p>○栄養摂取や水分確保の支援</p> <p>食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている</p>	<p>食思の見られない利用者には、好きな物を中心に、食べたり飲んだりして頂いている。</p>		
42		<p>○口腔内の清潔保持</p> <p>口の中の臭いや汚れが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている</p>	<p>拒否の見られる方には、声かけを行うだけでなく、うまく磨けない方は職員が介助するなどして支援している。</p>		
43	16	<p>○排泄の自立支援</p> <p>排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている</p>	<p>下半身を鍛え尿漏れをなくすボール体操運動を取り入れるなどし、排泄を自らコントロールできるよう促している。</p>		
44		<p>○便秘の予防と対応</p> <p>便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる</p>	<p>排泄リズムの把握に努め、調整作用のある食べ物や乳製品の飲み物などを提供、また運動を取り入れ、便秘を予防している。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
45	17	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々に応じた入浴の支援している	入りたくないという方には時間をずらしたり、曜日をずらしたりしている。		
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	昼夜逆転しないように配慮しながら、疲れている時には居室で休んで頂いている。		
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	薬の変更などがあつた場合、服薬説明書を掲示してる。薬をセットするとき、薬手帳を確認している。		
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活暦や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	工作や合唱などのレクレーション、カフェへの外出や花火大会などイベントを行って、楽しんだり、気分転換出来るよう努めている。		
49	18	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそつて、戸外に出かけられるように支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している。	利用者から希望が見られないこと、時間の余裕がないことなど、十分とはいえない。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
50		<p>○お金の所持や使うことの支援</p> <p>職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している</p>	<p>金銭の管理は職員が行っているが、職員と一緒に買い物をするときはレジで本人にお金を渡し、買ってもらうようにしている。</p>		
51		<p>○電話や手紙の支援</p> <p>家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援している</p>	<p>年賀状の作成など行っている。電話はいつでも出来るが、利用者からの申し出がなく、あまり積極的ではない。</p>		
52	19	<p>○居心地のよい共用空間づくり</p> <p>共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）が、利用者にとって不快や混乱を招くような刺激（音、光、色、広さ、湿度など）がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>こまめに整理整頓、掃除を行っている。空調を調節し、寒くなく、熱くない環境を提供している。壁面飾りを作り、生活感を演出している。</p>		
53		<p>○共用空間における一人ひとりの居場所づくり</p> <p>共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている</p>	<p>各居室で過ごして頂くこともあるし、ホールにはソファもあり、利用する人は決まってくるが、思い思いに過ごして頂いている。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
54	20	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのもを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	家族の写真や賞状・イベントでもらった似顔絵などを飾ったり、テレビを持ち込んだりしてもらっている。		
55		○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	トイレの場所はわかりやすく表示してある。また、狭いながらも車いす自走可能を考慮した配置空間にしてある。		



## V アウトカム項目

56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。 (参考項目：23, 24, 25)	1	1 ほぼ全ての利用者の
		4	2 利用者の2/3くらいの
		3	3 利用者の1/3くらいの
		0	4 ほとんど掴んでいない
57	利用者と職員が一緒にゆったりと過ごす場面がある。 (参考項目：18, 38)	1	1 毎日ある
		3	2 数日に1回程度ある
		4	3 たまにある
		0	4 ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている。 (参考項目：38)	0	1 ほぼ全ての利用者が
		5	2 利用者の2/3くらいが
		3	3 利用者の1/3くらいが
		0	4 ほとんどいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿が見られている。 (参考項目：36, 37)	1	1 ほぼ全ての利用者が
		4	2 利用者の2/3くらいが
		3	3 利用者の1/3くらいが
		0	4 ほとんどいない

60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている。 (参考項目：49)	0	1 ほぼ全ての利用者が
		3	2 利用者の2/3くらいが
		5	3 利用者の1/3くらいが
		0	4 ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている。 (参考項目：30, 31)	6	1 ほぼ全ての利用者が
		2	2 利用者の2/3くらいが
		0	3 利用者の1/3くらいが
		0	4 ほとんどいない
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により安心して暮らせている。 (参考項目：28)	2	1 ほぼ全ての利用者が
		5	2 利用者の2/3くらいが
		1	3 利用者の1/3くらいが
		0	4 ほとんどいない
63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている。 (参考項目：9, 10, 19)	2	1 ほぼ全ての家族と
		4	2 家族の2/3くらいと
		0	3 家族の1/3くらいと
		2	4 ほとんどできていない

64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている。 (参考項目：9, 10, 19)	0	1 ほぼ毎日のように
		0	2 数日に1回程度ある
		6	3 たまに
		2	4 ほとんどない
65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている。 (参考項目：4)	0	1 大いに増えている
		8	2 少しずつ増えている
		0	3 あまり増えていない
		0	4 全くいない
66	職員は、生き活きと働いている。 (参考項目：11, 12)	3	1 ほぼ全ての職員が
		4	2 職員の2/3くらいが
		1	3 職員の1/3くらいが
		0	4 ほとんどいない
67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う。	2	1 ほぼ全ての利用者が
		4	2 利用者の2/3くらいが
		1	3 利用者の1/3くらいが
		1	4 ほとんどいない
68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う。	4	1 ほぼ全ての家族等が
		4	2 家族等の2/3くらいが
		0	3 家族等の1/3くらいが
		0	4 ほとんどいない